

画像転送装置の使用について

1. 画像転送装置主電源について

画像転送装置画像転送装置の他、AV 機器に電源を供給するためのメインスイッチです（写真 1.）。

画像転送装置を使用する際は、最初にこのスイッチを ON にします。



使用終了後は、最後に OFF にして下さい。

写真 1. 画像転送装置 主電源 :  部分

⇒この主電源を ON にしないと電源が供給されず、画像転送装置操作パネル（次ページの写真 2.）上の電源ボタンを押しても画像転送装置は使用できません。

2. 画像転送装置 操作パネルについて

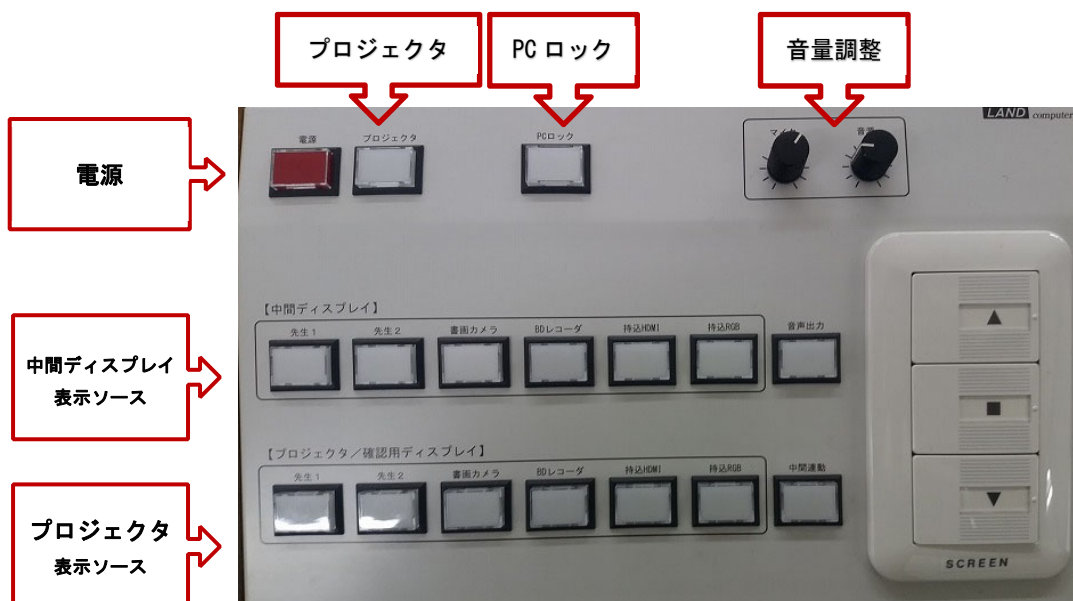


写真2. 画像転送装置 操作パネル

電源 : 電源ボタンを押すたびに、ON (ランプが緑色に点灯)、OFF(ランプがオレンジ色に点灯)の切り替えができます。

プロジェクタ : ランプが点灯している場合はプロジェクタのスクリーンに表示されます。プロジェクタボタンを押すたびに、表示 (プロジェクタランプ点灯)・非表示 (プロジェクタランプ消灯) 切り替えができます。

中間ディスプレイ : ランプが点灯しているソース (先生1、先生2など) を「中間ディスプレイ」に表示させます。各ソースボタンを押す度に中間モニターへの表示 (ランプ点灯)・非表示 (ランプ消灯) の切り替えができます。

プロジェクタ : ランプが点灯しているソース (先生1、先生2など) を「中間ディスプレイ」に表示させます。

(注) 中間モニター、送信画像確認用モニター、プロジェクタのすべてに同じ画面を表示させる場合、[中間連動]に設定してください。

2. PC ロックについて

次ページの例1の状態（初期状態）から「PC ロック」のボタンを押す。
このボタンを押すことで、学生機のクライアントのキーボード・マウスの操作ができなくなります。解除するには再び、「PC ロック」のボタンを押して消灯させます。



学生機のマウスアイコンが上記のようになり操作できなくなります。

3. 音声出力について

次ページの例1の状態（初期状態）から、「音声出力」のボタンを押す。
このボタンを押すことで、中間ディスプレイにてランプ点灯されているソースの音が出力されます。音声出力をやめるには「音声出力」のボタンを押して消灯させます。（下図は【先生1】の音が出力されます。）



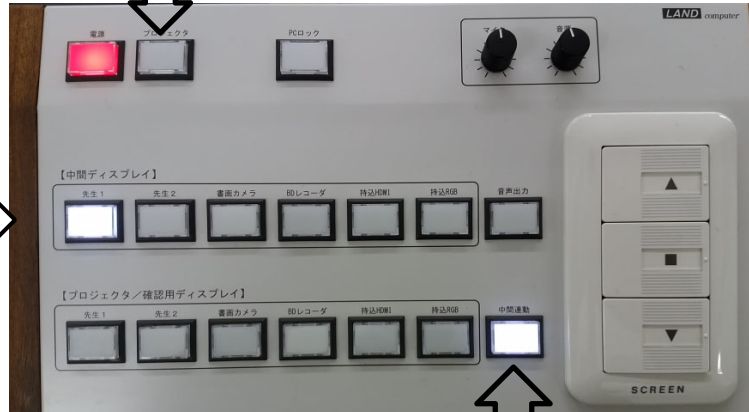
画像転送装置使用例

例1 [先生1]の画像を、[送信画像確認用モニタ]、[中間モニタ]に表示させる方法
(この状態が電源を入れた際の初期状態です。)

《ランプの状態》

プロジェクタ消灯

中間ディスプレイ
[先生1]
点灯



中間連動
点灯

《出力状態》

送信画像確認用モニタ : 表示
中間モニタ : 表示
プロジェクタ : 非表示

例2 [先生1]の画像を、[送信画像確認用モニタ]、[中間モニタ] [プロジェクタ]に
表示させる方法

例1の状態(初期状態)から[プロジェクタ]ボタンを1回押し、[プロジェクタ]
のランプを点灯させる。

《ランプの状態》

プロジェクタ点灯

中間ディスプレイ
[先生1]
点灯



《出力状態》

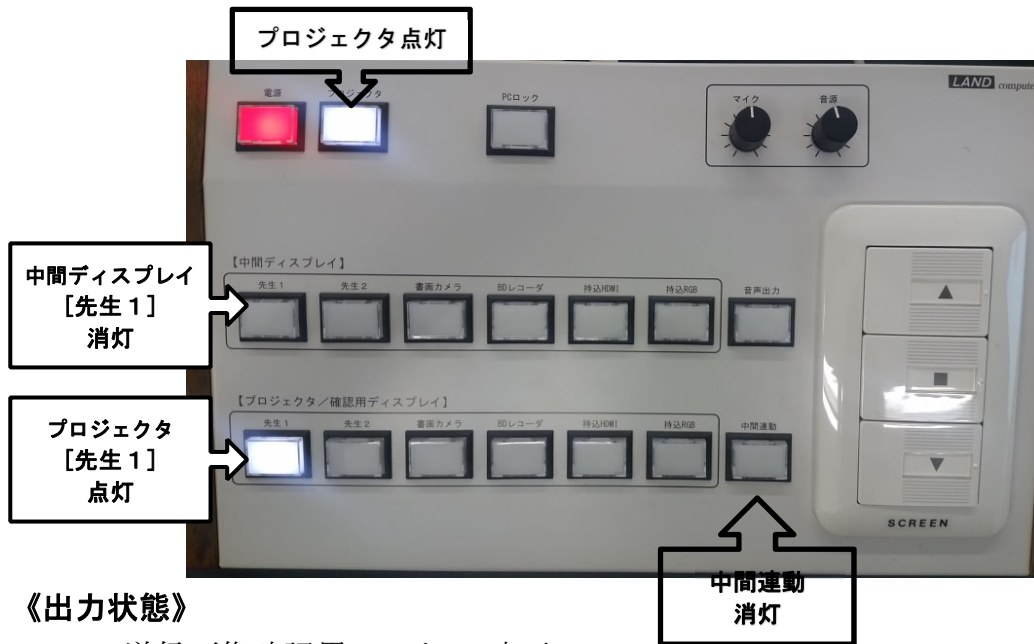
送信画像確認用モニタ : 表示
中間モニタ : 表示
プロジェクタ : 表示

例3 [先生1]の画像を、[送信画像確認用モニタ]、[プロジェクタ]に表示させる方法

例1の状態（初期状態）から下記のボタンを押す

- ・「プロジェクタ」ボタンを押し点灯
- ・中間ディスプレイ[先生1]ボタンを1回押し消灯
- ・プロジェクタ[先生1]ボタンを1回押し点灯

《ランプの状態》



《出力状態》

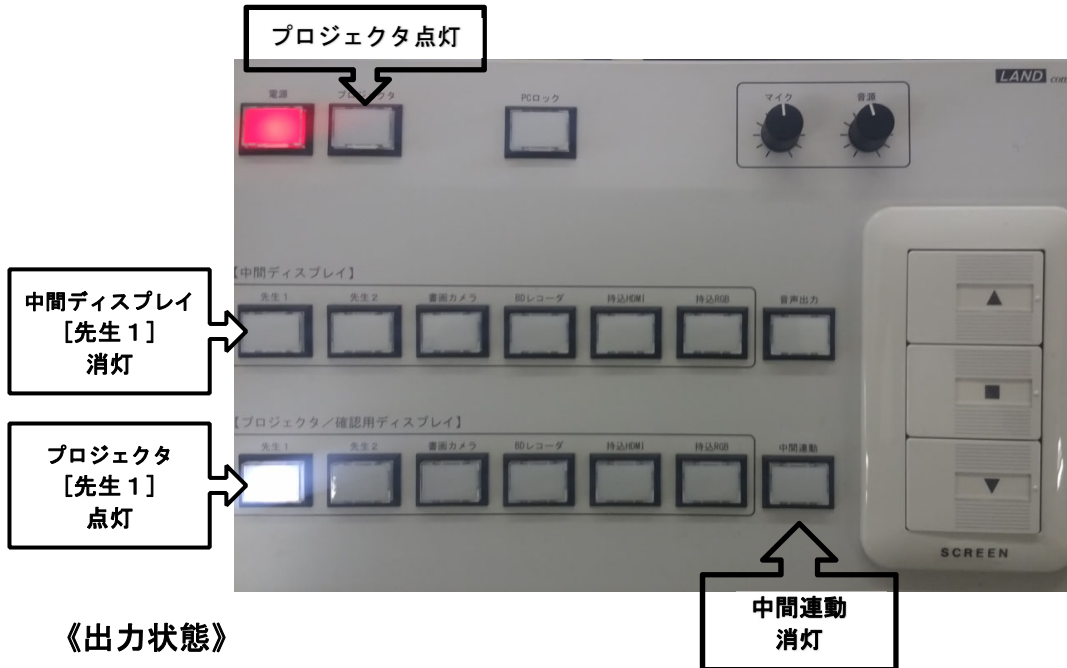
送信画像確認用モニタ : 表示
中間モニタ : 非表示
プロジェクタ : 表示

例4 [先生1]の画像を、[送信画像確認用モニタ]のみに表示させる方法

例1の状態（初期状態）から下記のボタンを押す

- ・中間モニタ[先生1]のランプを消灯させる。
- ・プロジェクタ[先生1]を点灯させる

《ランプの状態》



《出力状態》

送信画像確認用モニタ : 表示
中間モニタ : 非表示
プロジェクタ : 非表示

プロジェクタの利用について

1. 利用を開始する方法について

- (1) スクリーンの UP / STOP / DOWN は、画像転送装置 操作パネルの[SCREEN]スイッチで操作します。(写真1.)

なお、スクリーンは、[DOWN]ボタンを押すだけで適正な位置で自動停止しますので、[STOP]ボタンの操作は必要ありません

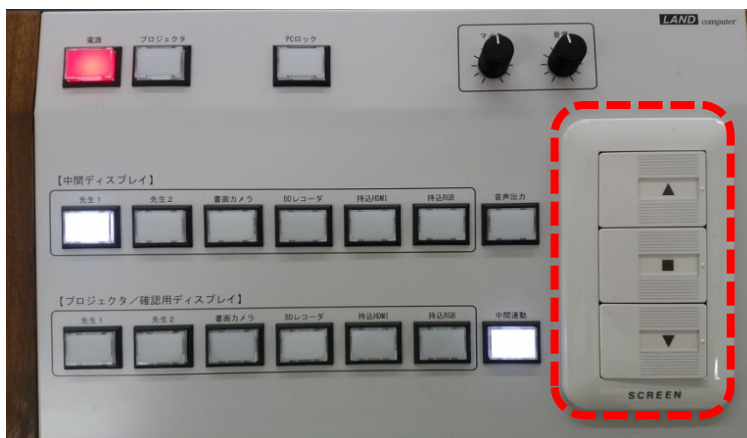


写真1. 画像転送装置 操作パネルの [SCREEN] スイッチ：□部分

- (2) リモコンをプロジェクタに向けた状態で、電源ボタンを1回押します。(写真2.)

電源が入るとプロジェクタから「ピポ」という音がします。



写真2. プロジェクタ用リモコン 電源ボタン：□部分

- (3) 右のようにスクリーンに投影されます。(写真3.)

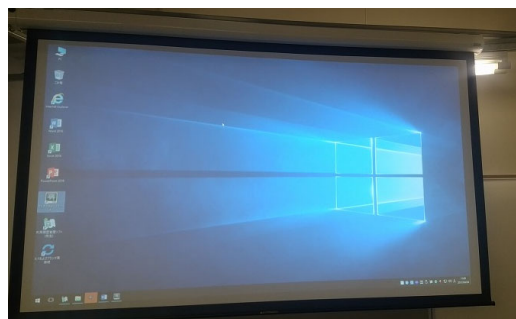


写真3. プロジェクタからスクリーンに投影

(注) 画像転送装置でプロジェクタへの出力を非表示に設定している場合は表示されないの、注意してください。

2. 利用を終了する方法について

- (1) リモコンをプロジェクタに向けた状態で、スタンバイボタンを1回押します。
(写真4.)



写真4. プロジェクタ用リモコン
電源ボタン: 部分

- (2) スクリーンに「電源をオフします。よろしいですか?」と表示されるので、表示が消える前に再度リモコンのスタンバイボタンを1回押します。(写真5.)
スクリーンの表示が消え、プロジェクタから「ピポ」と音がしたら終了です。

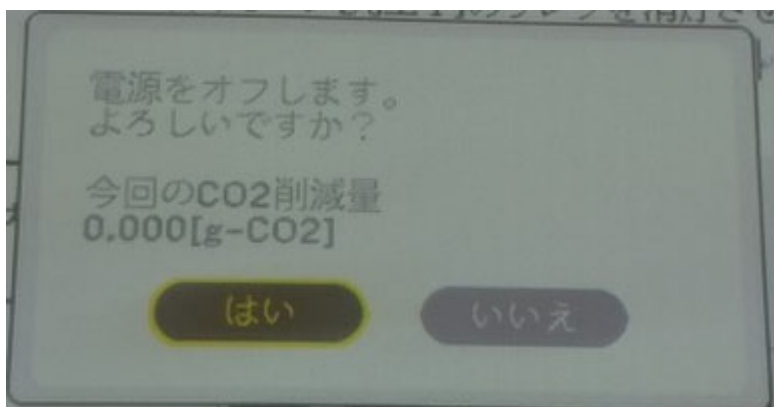


写真5. このメッセージが表示されたら、再度、電源ボタンを押す。

書画カメラの利用について

1. 電源の ON / OFF 本体右奥にあるメインスイッチを押して ON / OFF を行います。

(写真 1. 2.)



写真 1. 書画カメラ
メインスイッチ：□部分



写真 2. メインスイッチ

2. 電源を ON にしたら、表示したい資料を置いてください。(写真 3.)

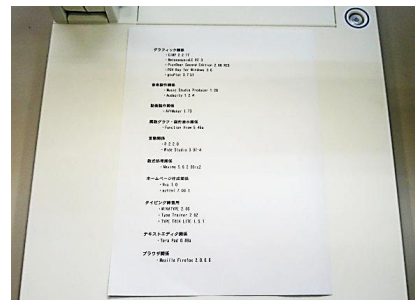


写真 3. 表示したい資料を置く

3. 表示範囲の調整はズームダイヤルを回して調整します。(写真 4.)



写真 4. ズームダイヤル：
□部分

4. ピントの調整は、[AF] ボタンを押すと、自動でピントを合わせます。(写真 5.)



写真 5. [AF] ボタン：
→ □部分

ブルーレイディスクレコーダーの利用について



ー ブルーレイディスクレコーダーを視聴する場合 ー



写真1. ラックと鍵



写真2. デッキと「開閉ボタン」「電源ボタン」

1. ブルーレイディスクレコーダーを利用するには、ラックの前面を開ける必要があります（写真1）。ラックのカギを用いてラックを開け、ガラスの扉を開いてブルーレイディスクレコーダーを操作ください。
2. 電源を入れるには、電源ボタン（本体右上  か、リモコン ）を押します。操作可能になるまで数秒待ちます。
本体表示窓がチャンネル表示に切り替われば、操作可能です。

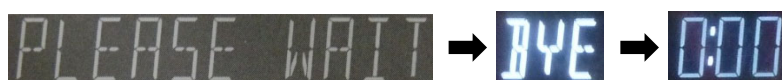
本体表示窓



チャンネル表示

3. 本体の「開閉ボタン」を押し。トレイを開きディスクを入れます。もう一度押しすと、トレイが閉まります。電源が切れていても取り出せます。ただし、電源「入」になります。
4. 再生・停止など、主な操作はリモコンで行います。
5. 開閉ボタンを押して、トレイを開き、ディスクを取り出します。もう一度押しすと、トレイが閉まります。
6. 最後に電源を切るには、電源ボタンを押します。

本体表示窓



7. 電源を切ったあとは、ラックのカギを閉めてください。

注) ブルーレイディスクレコーダーは、画像転送装置の主電源と連動していません。利用後は必ず電源を OFF にして下さい。



写真2.
リモコン